山鹿市民医療センター

令和７年４月

生命と健康への貢献

地域住民の生命と健康への貢献が私達の使命です

1．病院概要

病 院 開 設 者 ：早田　順一　山鹿市市長

病院事業管理者：別府　透

院　　長：石河　隆敏

■病床数

一般病床197床・感染症病床4床

（7対1入院基本料、地域包括ケア、緩和ケア病棟）

■標榜診療科（20診療科）

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、代謝内科、小児科、外科、乳腺外科、消化器外科、泌尿器科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、腫瘍外科、腫瘍内科、緩和ケア内科

■職員数（令和7年4月1日）

医師50名（25名）、看護職186名（159名）、メディカルスタッフ49名

事務系等77名　計362名　（　）内は常勤数

主な機関指定及び学会認定

○指定医療機関
- 救急告示病院
- 災害拠点病院
- 地域医療支援病院
- 熊本県指定がん診療連携拠点病院
- 臨床研修指定病院（協力型）
- 第二種感染症指定医療機関
- 熊本DMAT指定病院
- 熊本県肝疾患専門医療機関
- 熊本県肝炎治療指定医療機関

○学会認定・関連施設
- 日本外科学会（指定施設）
- 日本整形外科学会（専門医研修施設）
- 日本リウマチ科学会（教育施設）
- 日本泌尿器科学会（教育関連施設）
- 日本眼科学会（専門医制度研修施設）
- 日本麻酔科学会（認定病院）
- 日本消化器病学会（認定施設）
- 日本消化器外科学会（認定施設）
- 日本消化器内視鏡学会(指導連携施設)
- 日本肝臓学会（認定施設）
- 日本胆道学会（認定施設）
- 日本消化管学会（認定施設）
- 高難度腹腔鏡肝切除指定施設
- 日本がん治療認定医機構　認定研修施設
- 日本緩和医療学会（認定施設）

地域住民の生命と健康への貢献
山鹿市民医療センター

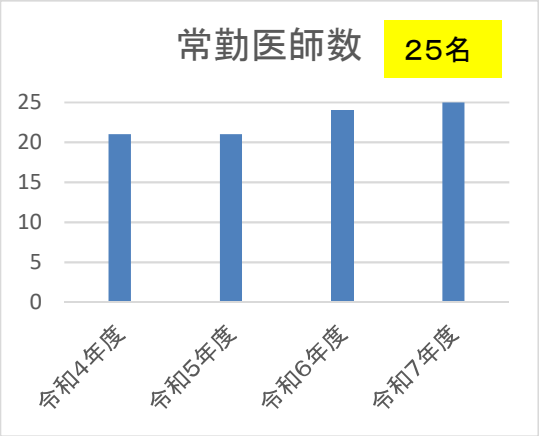
2. 職員数

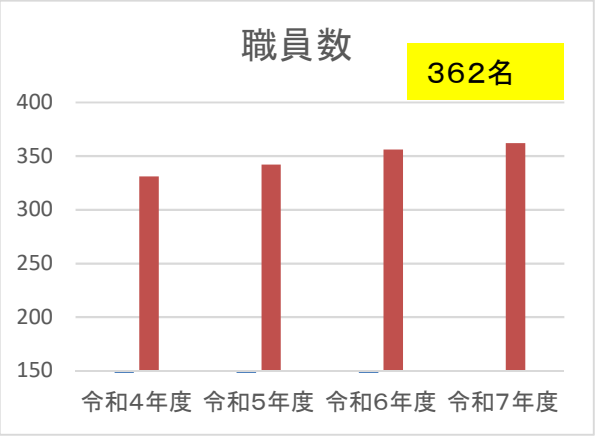
○職員数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
常勤医師数	21	21	24	25
職員数	331	342	356	362

令和7年4月より

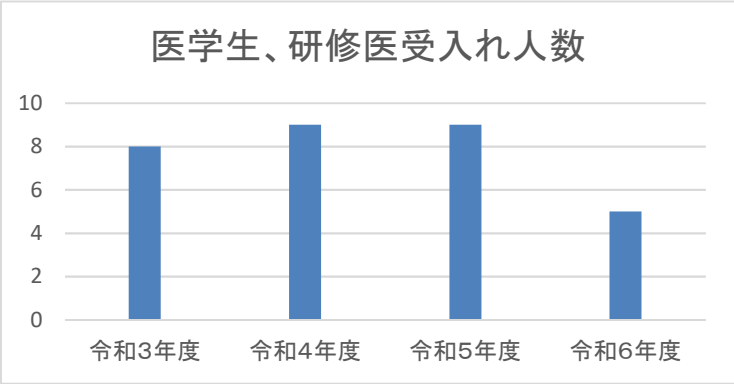
泌尿器科　常勤2名　体制
眼科　　常勤1名　体制





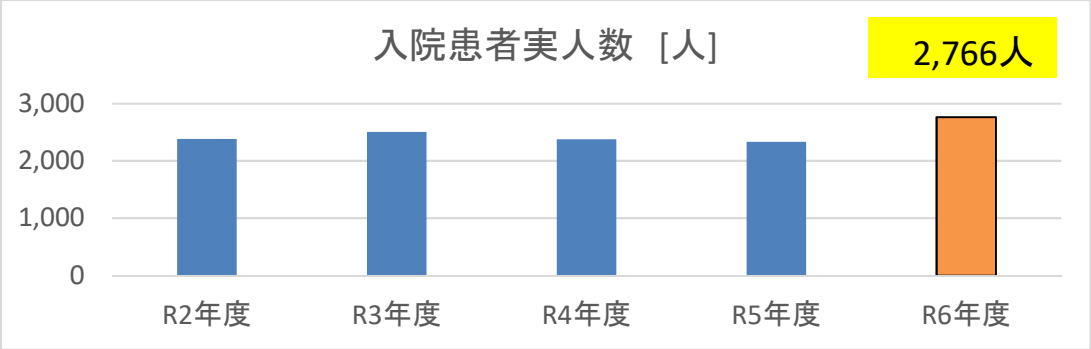
○医学生、研修医の受入れ

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
受入れ人数	8	9	9	5



3. 患者数

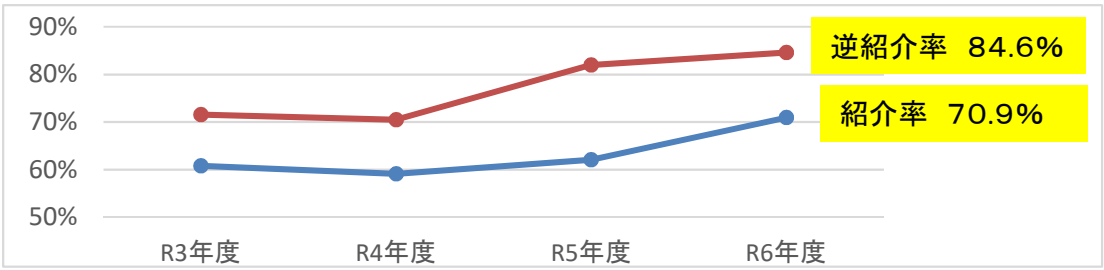
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
入院実人数[人]	2,380	2,506	2,378	2,332	2,766
うち、がん患者数[人]	357	438	419	318	361
がん患者割合[%]	15.0%	15.0%	17.6%	13.6%	13.1%
外来延べ人数[人]	46,657	49,403	50,012	46,894	44,160
化学療法延べ患者数[人]	798	1,009	1,011	822	685



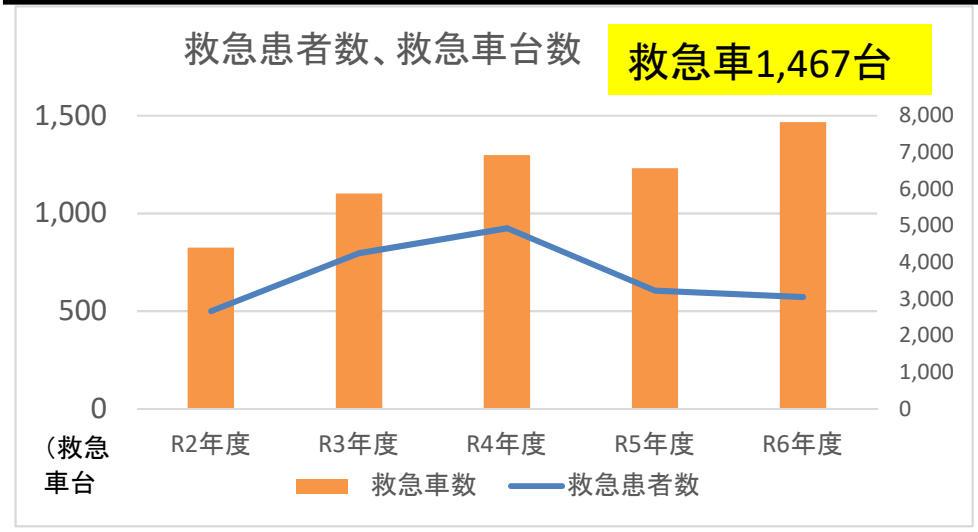
○紹介、逆紹介率、救急患者数

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
紹介率	62.8%	*60.8%	*59.1%	62.1%	70.9%
逆紹介率	80.6%	*71.6%	*70.5%	82.0%	84.6%

*新型コロナの影響除く



	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
救急患者数	2,669	4,246	4,931	3,229	3,052
救急車数	825	1,101	1,297	1,231	1,467

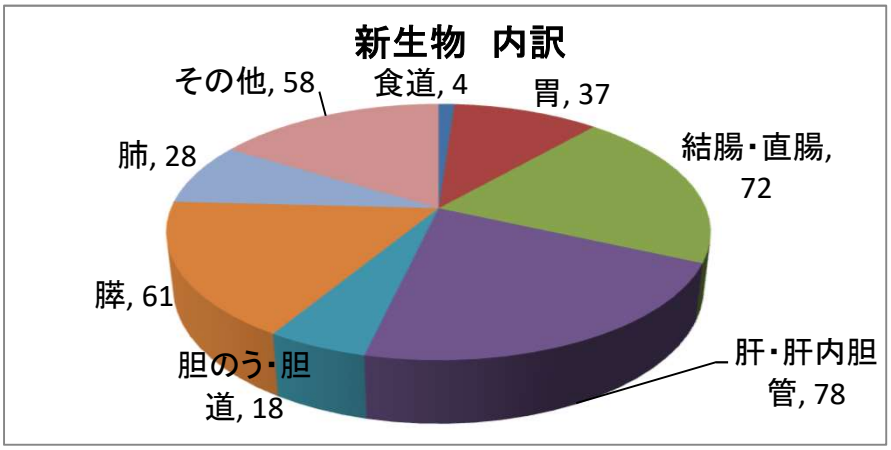


●救急患者数(折れ線)
R3年とR4年はコロナ受入れで救急患者が一時的に増

4. 入院患者内訳

○令和6年度　入院患者数	【人】
合計	**2766**
01:感染症及び寄生虫症	69
02:新生物	356
03:血液および造血器の疾患ならびに免疫機構障害	22
04:内分泌、栄養および代謝疾患	60
05:精神および行動の障害	5
06:神経系の疾患	19
07:眼および付属器の疾患	0
08:耳および乳様突起の疾患	10
09:循環器系の疾患	130
10:呼吸器系の疾患	229
11:消化器系の疾患	865
12:皮膚および皮下組織の疾患	26
13:筋骨格系および結合組織の疾患	151
14:腎尿路生殖器系の疾患	67
15:妊娠、分娩および産じょく＜褥＞	0
16:周産期に発生した病態	0
17:先天奇形、変形および染色体異常	0
18:症状、徴候および異常臨床・異常検査所見で他に分類されない	2
19:損傷、中毒およびその他の外因の影響	670
20:COVID-19	85

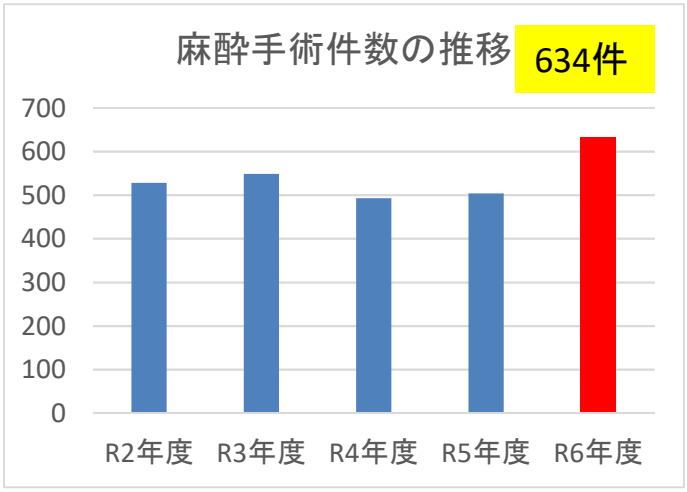
（新生物　内訳）	【人】
c0201:口、咽頭	2
c0202:食道	4
c0203:胃	37
c0204:結腸、c0205:直腸	72
c0207:肝及び肝内胆管	78
c0208:胆のう・胆道	18
c0209:膵	61
c0210:その他の消化器	15
c0212:気管、気管支及び肺	28
c0217:中皮及び軟部組織	0
c0218:乳房	12
c0220:子宮体（部）	1
c0222:卵巣	0
c0226:腎及び腎盂	2
c0227:膀胱	1
c0233:非ホジキンリンパ腫	2
c0235:その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	5
c0236:その他	18



5. 手術、麻酔件数

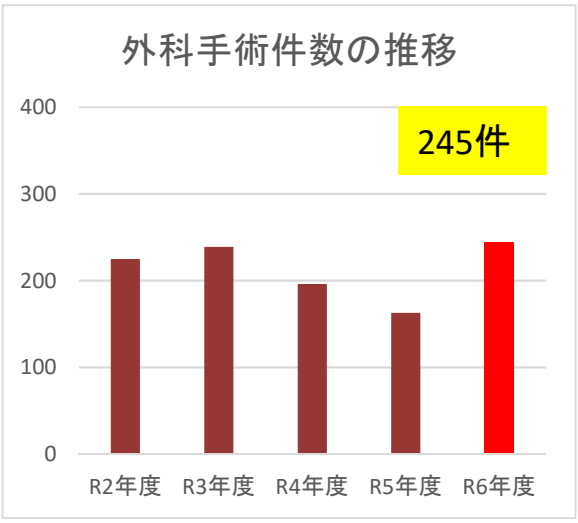
○手術、麻酔件数の推移

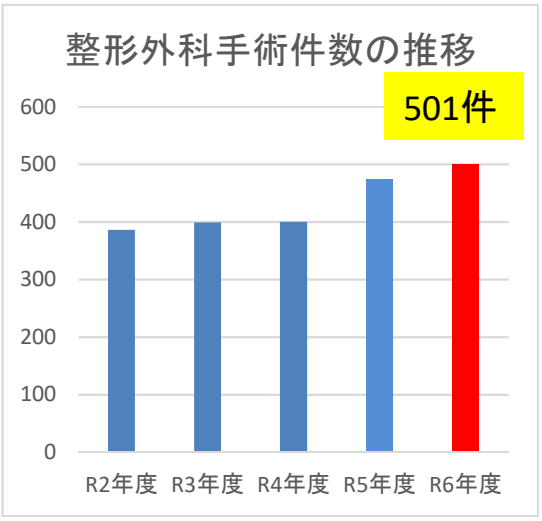
術式名	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
麻酔件数（全麻＋脊麻）	528	549	493	504	634



○診療科別手術件数の推移

診療科	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
外科	225	239	196	163	245
整形外科	386	399	400	475	501

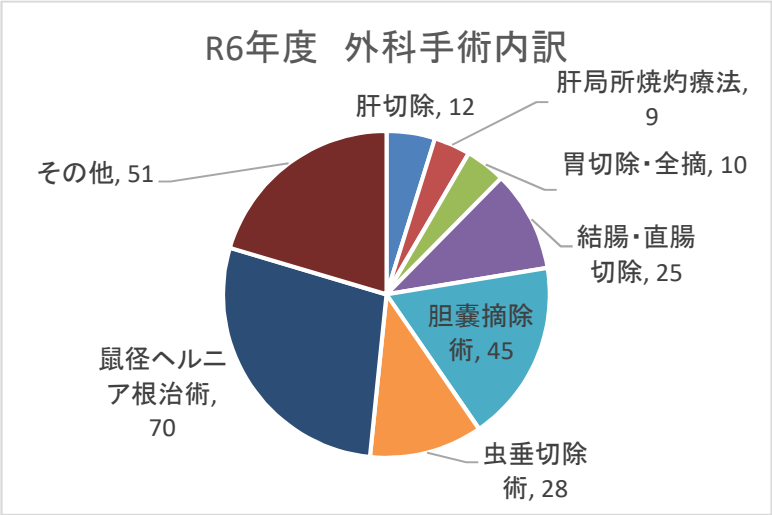




6. 外科手術件数

○R6年度　外科手術内訳

術式	件数
肝切除	12
肝局所焼灼療法	9
胃切除・全摘	10
結腸・直腸切除	25
胆嚢摘除術	45
虫垂切除術	28
鼠径ヘルニア根治術	70
その他	51
計	250

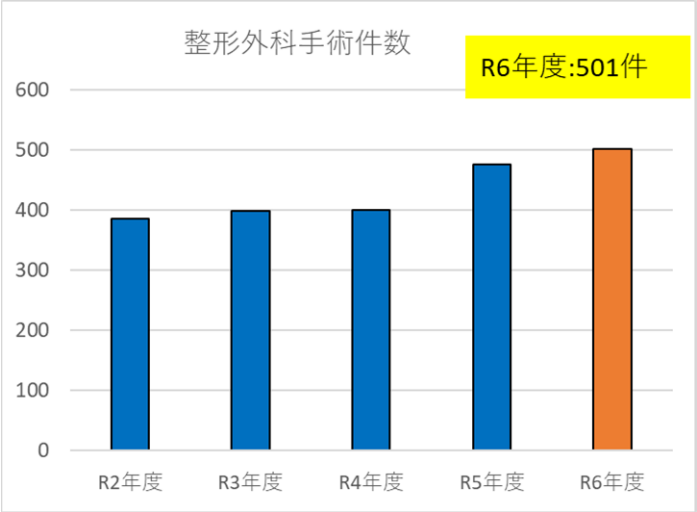


がん総合的診療チーム

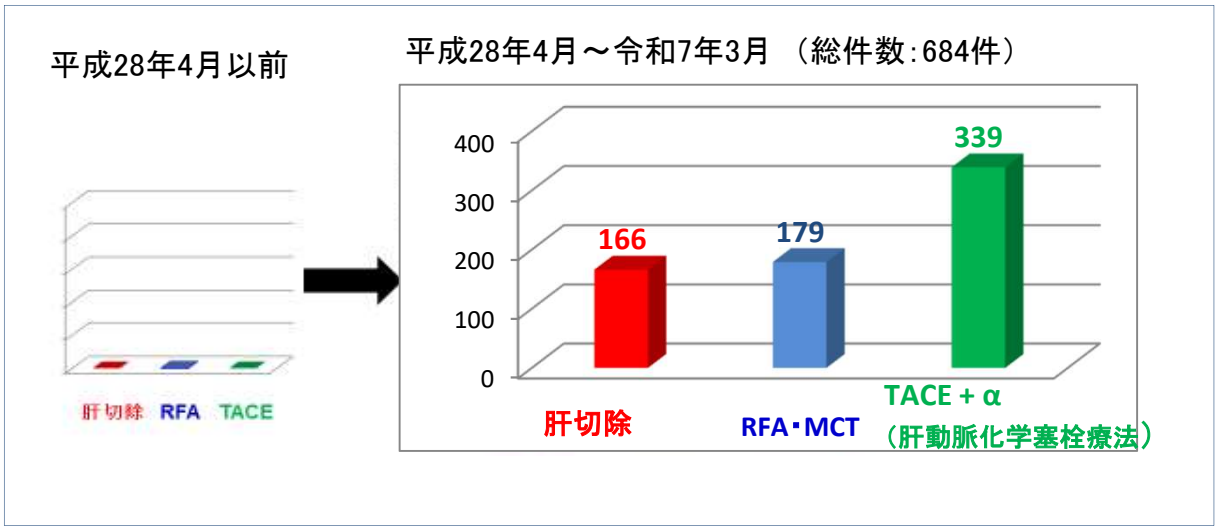
H28年４月に外科、消化器内科で肝がん集学的治療グループを立ち上げ、H30年からは放射線科医も参加しています。原発性および転移性肝がんに対する肝切除術、腹腔鏡・胸腔鏡下肝切除術、局所焼灼療法（ラジオ波：RFA/マイクロ波：MCT）、肝動脈化塞栓療法(TACE)、化学療法を癌の進行度と肝予備能の両面を考慮して選択しており、2025年3月までに、肝切除166例、ラジオ波やマイクロ波による局所焼灼療法178例、肝動脈化学塞栓療法335例、行いました。熊本県内でも有数の肝がん治療のhigh volume centerになりつつあります。
良性疾患に対する腹腔鏡手術施行割合は2016年前の40%前後から70%前後に増加しました。特にヘルニアの手術では2017年度から腹腔鏡手術を積極的に行っています。鼠径ヘルニアでは再発例や前立腺手術の既往がなければTEP：totally extraperitoneal repair（腹腔鏡を用いた腹膜前到達法による腹膜前修復法）を第一選択に行っています。その他の腹壁瘢痕ヘルニアや閉鎖孔、大腿ヘルニアなども症例に応じて腹腔鏡にて手術を行っています。

7. 整形外科手術件数

術式	件数				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
骨折観血的手術	204	174	159	170	200
骨内異物(挿入物)除去術	52	45	56	52	44
人工骨頭挿入術	33	39	27	48	45
腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む)	24	42	32	45	43
手根管開放手術	22	21	25	25	24
人工関節置換術	13	17	19	32	35
皮膚切開術	11	0	7	5	2
骨掻爬術	10	1	0	4	7
半月板切除術	9	5	9	5	16
骨折経皮的鋼線刺入固定術	7	10	6	8	6
皮膚皮下腫瘍摘出術	7	7	4	9	10
関節内骨折観血的手術	4	10	26	16	14
関節滑膜切除術(関節鏡下含む)	4	3	1	1	5
骨折非観血的整復術	4	3	1	6	2
化膿性関節炎掻爬術	3	3	0	8	8
腱切離･切除術	3	0	0	0	0
腱縫合	3	0	2	1	4
四肢切断術	2	2	2	4	4
腱滑膜切除術	2	2	0	1	1
ｱｷﾚｽ腱断裂手術	2	1	2	2	1
四肢関節離断術	2	0	2	0	2
筋肉内異物摘出術	1	2	1	2	1
神経剥離術	0	4	1	1	1
関節切開術	0	2	0	0	1
靭帯断裂縫合術	0	2	6	0	0
腱移行術	0	2	1	0	0
骨腫瘍切除術	0	0	1	0	0
その他	14	8	21	30	34



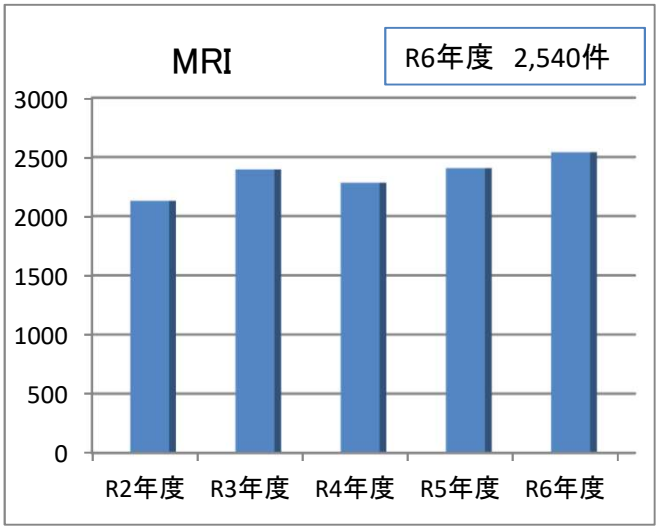
8. 肝がん集学的治療件数

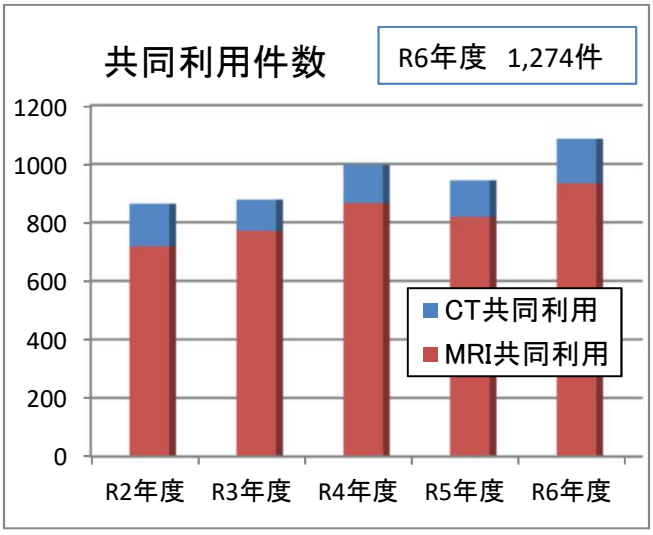


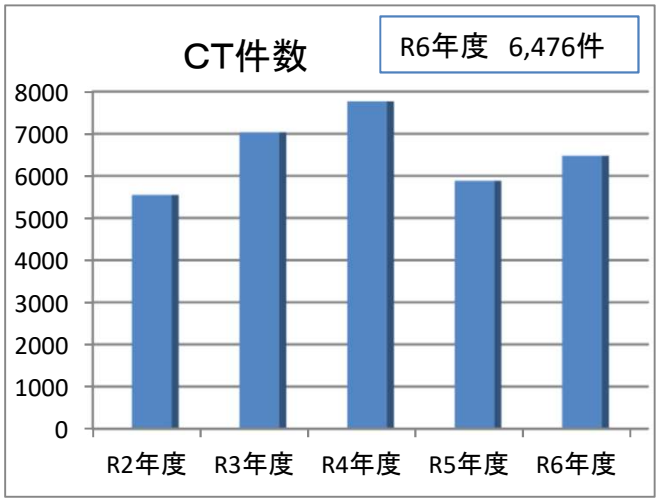
9. 放射線検査

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
MRI検査	2,129	2,394	2,282	2,405	2,540
CT検査	5,549	7,036	7,768	5,882	6,476

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
MRI共同利用	771	866	819	933	1,061
CT共同利用	107	130	125	153	213







10. 内視鏡検査、処置、手術

○上部消化管検査、処置、手術

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検査	2697	2353	2487	2,576	2,492
異物除去	1	6	11	2	6
上部EMR	1	1	1	0	3
上部ESD	13	19	9	14	9
上部止血	39	30	36	23	80
金属ステント挿入	4	8	6	2	4
上部EVL	6	13	6	3	6
拡張ブジー	2	2	10	11	10
上部EIS	5	10	11	3	7
PEG造設、交換	23	26	5	8	19

○下部消化管検査、処置、手術

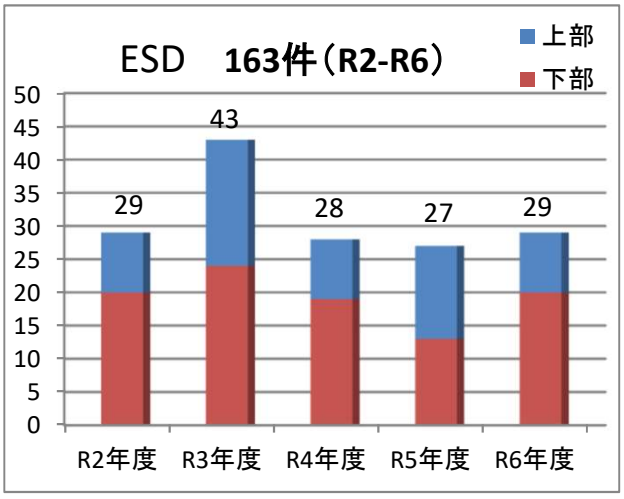
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
検査	687	751	786	756	647
異物除去	0	0	1	1	1
下部EMR	141	223	186	182	193
下部ESD	23	24	19	13	20
下部ポリペク	1	1	7	22	19
下部止血	21	20	12	12	17
金属ステント挿入	2	4	3	3	8
下部EVL	2	0	3	1	2
拡張ブジー	0	6	1	1	0
SCS	136	32	25	54	54
注腸透視	0	0	0	0	4
イレウス管	37	23	10	14	12
経肛門的イレウス管	5	14	13	10	5

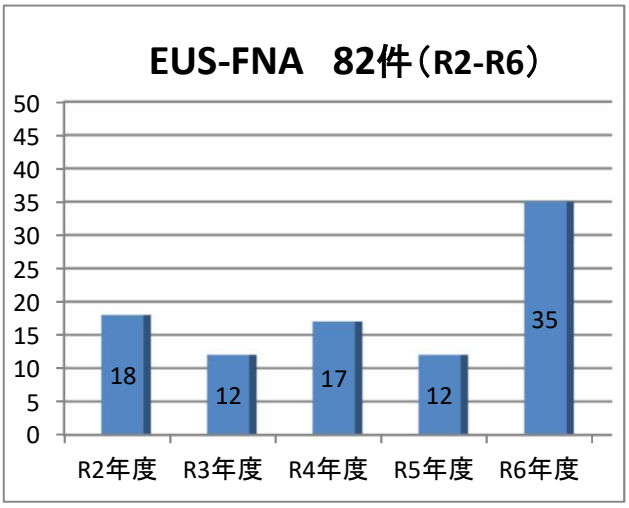
○肝臓・胆道・膵臓検査、処置、手術

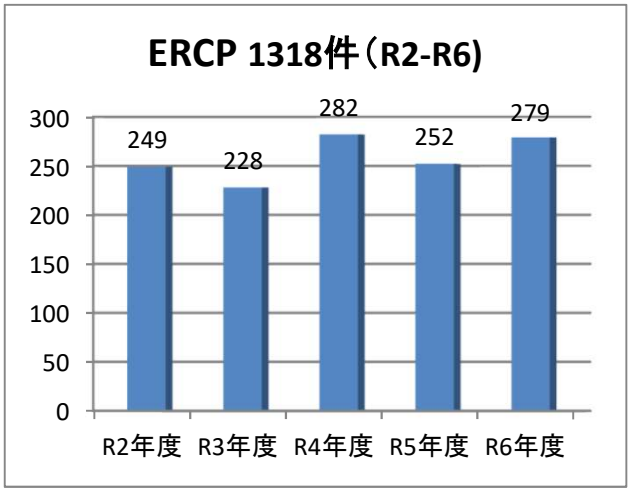
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
上部EUS	171	98	117	95	72
上部EUS－FNA	6	12	17	12	35
ERCP	277	228	282	252	279
PTCD・PTGBD	8	15	10	8	2

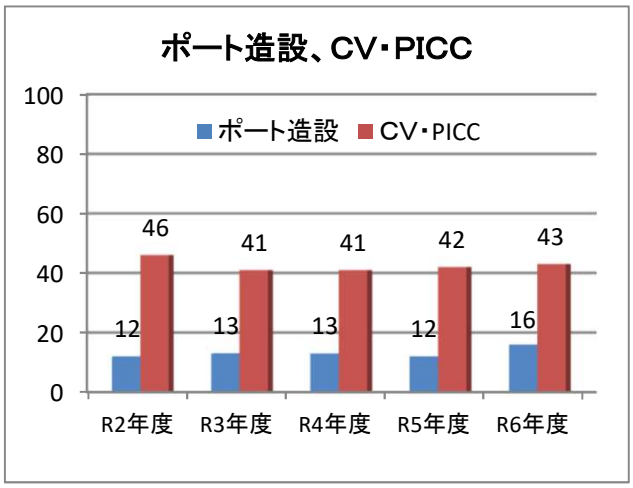
○その他処置

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
CV・PICC	46	41	41	42	43
胸腔穿刺	10	4	2	0	1
腹腔穿刺	4	8	4	3	5









早期の消化管がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、進行消化管がんに対する内視鏡的金属ステント留置術、胆膵腫瘍に対する内視鏡的胆管・膵管造影術（ERCP）、超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診（EUS-FNA）を積極的に行っています。

11. 各診療科

外科　主要手術、治療

	術式、治療名	
1	鼠径ヘルニア手術（腹腔鏡含む）	70
2	胆嚢摘出術（腹腔鏡下含む）	45
3	肝切除（腹腔鏡下含む）	12
4	虫垂切除術	28

H28年より従来の消化管外科、一般外科に加えて、肝胆膵領域の外科治療が可能となりました。それに伴い、新たに肝・肝内胆管の悪性腫瘍の症例数が増加傾向にあり、肝切除は年22件になりました。転院率も低く一連の治療が当院で完結できる体制が整っています。令和元年度より緊急手術が出来る体制を整え、手術数も増加しまし

消化器科　主要手術、治療

	術式、治療名	
1	ERCP	279
2	EMR	196
3	ESD	29

主な対象疾患としては食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆管や胆嚢の各種良性疾患や悪性腫瘍等、幅広い診療を行っています。

整形外科　主要手術、治療

	術式、治療名	
1	骨観血的手術	200
2	骨内異物除去術	44
3	人工骨頭挿入術（股）	45

高齢者の方の転倒などによる大腿骨近位部骨折の症例が最も多くなっています。手術後に状態が落ち着いたら、地域包括ケア病棟へ転棟したり、近隣病院へ転院していただきリハビリテーションに取り組んでもらっているため、転院率も75%を超えています。

産婦人科

婦人科手術は集学的治療を要する例を除いて、卵巣腫瘍、子宮筋腫、異所性妊娠、臓器脱、子宮内膜症など広く対応しています。

循環器科

外来では、狭心症や心筋梗塞、弁膜症や心筋症、不整脈や心不全など、心血管疾患全般の診療を行っています。また、冠動脈CTも行っています。
院内連携としては、整形外科、外科、産婦人科等の術前心疾患チェック等も行っています。

代謝内科

糖尿病疾患を中心に高血圧、脂質異常症、甲状腺疾患、その他の内分泌疾患など、幅広い疾患を診療しております。また、日本糖尿病療養指導士、熊本地域療養指導士の資格を保有した看護師、薬剤師、栄養士、検査技師、理学療法士などと糖尿病対策チームを構成しており、他職種で糖尿病診療に当たっています。

眼科　主要手術、治療

	術式、治療名	
1	アイリーア・ラニビズマブBS・バビースモ硝子体内注射	108
2	水晶体再建術	0
3	翼状片手術	0

令和7年4月から眼科常勤1名体制です

12. 緩和ケア病棟

◆患者数

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
延べ患者数	2,323	2,800	3,143	2941	3,879	3,809
実患者数	85	83	85	121	107	121
平均在棟日数	27.3	33.7	37.0	24.3	36.3	31.5

◆年齢別(R6)

30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
0	1	4	6	41	50	19

◆病名(R6)

胃	食道	大腸	肝・胆	膵	肺	乳房	卵巣	子宮	前立腺	縦隔・心臓
5	1	17	14	13	24	15	1	1	3	0

腎・尿管・膀胱	血液・リンパ	その他
6	3	18

◆入院前

自宅	転院	老人保健施設	老人ホーム	院内より転棟
45	28	3	3	42

◆退院先(退棟)

死亡	自宅	老人ホーム	転院	院内へ転棟
80	27	6	8	0

緩和ケア病棟では、明るく家庭的な雰囲気作りを行っております。患者さまだけでなくご家族のケアも重視し、勉強会等実施しています。

患者さまの希望に寄り添い、入院後症状が落ち着いた方への退院支援や、在宅での看取りを希望される場合の訪問診療を行っている医療機関への紹介なども行っています。

病室 (無料個室)

全室個室で「その人らしさ」を支援しています

病室 (A室)

畳の間があります
(家族の宿泊可能)

病室 (B室)

各部屋に和を感じさせる障子があります

緩和ケア病棟

介助浴室
お体の状況に合わせて、
お風呂は2タイプ。

キッチン
ご要望により、手作りの食事をお作りいただける
キッチンスペースを設けております。

イベント
四季折々の行事を通じて心の支援となれるよう
夏祭りやクリスマス会などを開催しており、入院患者さんにお楽しみ頂いております。

＊＊＊＊＊＊＊　緩和ケア外来　＊＊＊＊＊＊＊

診療日：月～金曜日　9：00～12：00（予約制）

ご予約については、「がん相談支援センター」へご連絡ください

山鹿市民医療センター
〒861-0593　熊本県山鹿市山鹿511番地